

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00068)

事務事業名称	文化・芸術の振興	款	03	項	01	目	02	事業	001	整理番号	073
現担当課名	文化・交流課	係名	文化振興担当係					連絡先電話番号	3782	昨年度整理番号	073
上位施策No・施策名	30 文化・芸術の振興							予算事業区分	既定事業		
事業開始		実行計画事業	目標	05	施策	30	計画事業	01	02		
令和 2年度担当課名	文化・交流課							事業評価区分	一般		

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民、文化・芸術団体	根拠法令等	(1) 杉並区と日本フィルハーモニー交響楽団との相互協力に関する覚書 (2) 杉並区後援名義等の使用承認事務取扱要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が活発である。	活動指標	指標名 (1) 日本フィルとの友好提携事業の実施回数 指標説明 指標名 (2) 後援・共催名義使用承認事業実施件数 指標説明
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	日本フィルハーモニー交響楽団友好提携事業、区民ギャラリーの活用 (企画展や区民貸出し) 等を中心とした文化・芸術事業を実施する。 区民や団体が行う文化・芸術活動について、後援・共催を通して支援する。	成果指標	指標名 (1) 日本フィルとの友好提携事業の参加者数 指標説明 指標名 (2) 後援・共催により実施した事業の参加者数 指標説明

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 回	38	38	36	32	38	43	118.8	86.5	
活動指標 (2)	2 件	78	70	85	60	32	65	53.3		
成果指標 (1)	3 人	12,775	14,000	9,967	12,000	6,089	9,700	50.7		
成果指標 (2)	4 人	270,355	250,000	223,595	210,000	118,777	203,000	56.6		
事業費	5 千円	56,695	60,631	54,719	286,821	248,076	94,541	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	13,859	12,983	12,175	10,465	9,044	11,203			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	2.99	3.00	3.21	3.00	3.68	3.50		
	上記以外の職員	9 人	3.50	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	25,194	25,278	27,985	26,154	31,291	29,761		
	上記以外の職員	11 千円	10,812	9,267	9,240	9,240	10,884	10,884		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	92,701	95,176	91,944	322,215	290,251	135,186			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	2,439,500	2,504,632	2,554,000	10,069,219	7,638,184	3,143,860			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	156,110	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	1,000	1,000	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	10,570	435	10,620	1,203	10,620		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	10,570	435	11,620	158,313	10,620		
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	92,701	84,606	91,509	310,595	131,938	124,566			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 073

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	すぎなみアート応援事業（文化・芸術の場と活動の支援）の実施	568	件	159,230
	日本フィルとの友好提携事業の実施	38	回	23,532
	杉並公会堂利用料の支出（延べ日数）	45	日	11,717
	その他（情報紙の発行ほか）			53,597
事業実績	<p>コロナ禍において、区内の文化・芸術の場と活動を一体的に支援する「すぎなみアート応援事業」を創設し、場の支援95件（達成率95%）、活動の支援568件（達成率95%）、日本フィルコンサート6公演を支援しました。</p> <p>日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携に基づき、日本フィル、杉並公会堂、区の3者による実行委員会形式の演奏会を10回、区役所ロビーコンサートを4回、学校への出張音楽教室を10回開催するなど計38回の事業を実施しました。</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携（平成6年度締結）に基づき、杉並公会堂におけるコンサートや公開リハーサルなどの提携事業を継続して行い、コロナ禍も含めて多くの区民に文化・芸術に親しむ機会を提供してきました。</p> <p>文化・芸術情報誌「コミュかる」を平成24年5月より年6回発行し、区内の文化・芸術に関する情報や杉並公会堂、杉並芸術会館でのイベント情報などをわかりやすく区民に提供するとともに、区民が質の高い文化・芸術に親しめる機会や環境を整えてきました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>コロナ禍におけるオンライン活用の推進を契機として、誰もが気軽に文化・芸術に触れることができるよう、デジタル美術館（スグナミ・ウェブ・ミュージアム）の運営などICTの活用を進めています。</p> <p>また、平成6年から友好提携関係にある日本フィルとの友好提携事業においては、引き続き、杉並公会堂とも連携・協力しながら、区民が身近なところで質の高い文化に親しむ機会の創出を図ります。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>日本フィルとの友好提携事業の参加者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により計画（目標値）のおよそ51%となりましたが、感染症対策を講じながら着実に事業を行い、事業の実施回数は計画を上回る38回となりました。</p> <p>後援・共催名義使用承認事業については、コロナ禍の影響により文化・芸術活動を中止する事業が39件あり、後援・共催名義使用承認事業実施件数は、計画値の53%、参加者数は計画値の57%となりました。</p>
評価と課題	<p>コロナ禍における区内の文化・芸術の場と活動を一体的に支援する「すぎなみアート応援事業（第1弾）」を創設し、感染症対策を講じながら事業を継続する事業者の支援を通じて、区民が安心して多様な文化・芸術に触れる機会を確保しました。</p> <p>また、日本フィルとの友好提携事業では、感染症対策として収容人数制限等を講じたことにより、参加者数は6,089名（前年度比39%減）となりました。</p> <p>令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、令和2年度の第1弾に引き続き、「アート応援事業（第2弾）」を実施し、場と活動への一体的な支援を継続します。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、コロナ禍を踏まえた令和3年度予算と同規模の事業費等により、文化・芸術の振興を図っていきます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00073)

事務事業名称	杉並芸術会館の維持管理			款	03	項	01	目	03	事業	003	整理番号	078
現担当課名	文化・交流課		係名	文化振興担当係			連絡先電話番号	3782		昨年度整理番号	078		
上位施策No・施策名	30 文化・芸術の振興							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成15年度												
令和 2年度担当課名	文化・交流課							事業評価区分	一般				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	文化・芸術活動を行う区民及び関係団体等	根拠法令等	(1) 杉並区立杉並芸術会館条例 (2) 杉並区立杉並芸術会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	演劇、舞踊等の舞台芸術の創造及び発信並びに区民の文化活動の拠点として、芸術文化の振興を図る。区民との協働により施設を運営し、地域の賑わいの創出など、地域の振興を図る。	活動指標	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の貸出し回数 = 稼働可能数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	協定に基づく指定管理業務を実施する。芸術監督を設置し、芸術文化普及振興事業を計画・実施する。運営懇談会にて、芸術文化普及振興事業や施設の運営管理についての評価意見を求める。	指標説明	芸術文化普及振興事業の実施延べ回数
		成果指標	ホール利用率
		指標説明	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の総利用数 ÷ 稼働可能数
		指標説明	芸術文化普及振興事業への参加者数
		指標説明	公演事業の年間延べ観客動員数+教育的事業への年間延べ参加人数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 回	2,004	2,010	1,859	1,675	848	2,010	50.6	97.3	
活動指標 (2)	2 回	434	550	411	458	281	380	61.4		
成果指標 (1)	3 %	82	80	79	67	52	72	77.6		
成果指標 (2)	4 人	62,000	80,000	60,000	67,000	27,000	50,000	40.3		
事業費	5 千円	344,278	338,248	332,469	351,007	341,642	322,579	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	328,343	310,019	309,973	330,358	324,230	299,549			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	1.09	1.50	1.11	1.50	1.24	1.50		
	上記以外の職員	9 人	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	9,184	12,639	9,677	13,077	10,544	12,755		
	上記以外の職員	11 千円	1,545	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	355,007	350,887	342,146	364,084	352,186	335,334			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	177,149	174,571	184,048	217,364	415,314	166,833			
財源	受益者負担分	14 千円	9	9	5	9	7	9		
	国からの補助金等	15 千円	8,645	13,000	6,149	13,000	10,967	13,000		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	8,654	13,009	6,154	13,009	10,974	13,009		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	346,353	337,878	335,992	351,075	341,212	322,325			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 078

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	管理運営委託（指定管理者）	1	館	307,086
	芸術監督報酬の支出	12	月	4,200
	運営懇談会開催	3	回	182
	施設管理	12	月	8,763
	その他（地域協議会開催、備品購入ほか）			21,411
事業実績	<p>国の緊急事態宣言を受けた施設の休館中（3月9日から5月31日）には、これまで実施してきた子ども達への絵本の読み聞かせやワークショップをオンラインで実施する等、地域に根差した文化施設としての取組みを継続しました。施設再開後も営業時短要請などにより、施設の貸出業務や芸術文化普及振興事業の中止・縮小を余儀なくされましたが、国等の感染症対策ガイドラインに沿った対策を講じながら主催・提携事業を実施するとともに、演劇学校のオンライン授業を採り入れるなど、新しい生活様式に対応した取組を進めました。</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>【来館者数】平成21年度（開館時）：215,780人 平成30年度：190,703人 令和元年度：175,394人 令和2年度：80,974人</p> <p>主催・提携事業で使用する座・高円寺1、区民等が演劇・講演等で使用する座・高円寺2、阿波おどり振興協会が優先利用するホール等を有し、地域住民だけでなく、多くの文化芸術関係者から親しまれる施設となっています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>開館以降、座・高円寺2及び阿波おどりホールの利用率は平均80%程度で推移しており、地域住民や文化・芸術に携わる関係者からの高い需要が伺えます。文化・芸術を取り巻く社会環境の変化を機敏に捉え、より区民に開かれた公共劇場として、地域に根差した全区的な施設となるよう取組を進めます。</p> <p>また、文化の拠点である杉並芸術会館の役割として、年齢を問わず質の高い文化・芸術に触れられる機会が増えるよう、更なる芸術文化普及振興の発展に取り組んでいきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用率は前年度に比べ、座・高円寺2は26.0%減、阿波おどりホールは25.6%減となり、また芸術文化普及振興事業も同様に中止・縮小となったことから、ホール利用率と事業の参加者数ともに目標値を達成できませんでした。</p>
評価と課題	<p>コロナ禍においても、指定管理者と芸術監督が連携・協力し、オンライン配信等のICTを活用する等、創意工夫により質の高い舞台芸術を区民等に提供しました。また、徹底した感染症対策や施設の利用方法をホームページで紹介するなど、様々な文化・芸術活動の練習及び発表の場として利用率の向上に努めてきました。</p> <p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、ホール利用数の減少や芸術文化普及振興事業の中止・縮小も懸念されますが、ハード・ソフト両面から感染症対策を講じつつ、区民等が安心して利用できるホール運営と演劇・舞踊等の優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供に取り組めます。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>令和4年度以降は、コロナ禍を契機としてICTの活用がより一層求められる中、オンライン配信やSNSによる情報発信など、区民がアクセスしやすい環境整備に向けて、指定管理者と連携・協力して取り組みます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00075)

事務事業名称	杉並公会堂 (P F I 事業)			款	03	項	01	目	04	事業	001	整理番号	080
現担当課名	文化・交流課		係名	文化振興担当係			連絡先電話番号	3782		昨年度整理番号	080		
上位施策No・施策名	30 文化・芸術の振興							予算事業区分	投資事業				
事業開始	平成18年度												
令和 2年度担当課名	文化・交流課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民、文化・芸術団体	根拠法令等	(1) 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 (2) 杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約書
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民への良質な文化芸術を鑑賞できる機会の提供などとともに、区民自らの文化・芸術活動を気軽に行える場とする。	活動指標	自主事業実施回数
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	ホール・スタジオ等の利用件数
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区民の文化・芸術活動を始めた多様な活動場所の提供と、杉並の文化の発信拠点となる杉並公会堂を民間の資金や能力を活用した P F I 手法により運営する。 公演など自主事業を行うほか、区民が気軽に利用できるように、ホールやスタジオ等の貸し出し事業を実施する。	成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 回	28	38	24	32	17	24	53.1	99.7	
活動指標 (2)	2 件	23,761	25,000	22,430	21,000	9,991	12,000	47.6		
成果指標 (1)	3									
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	790,106	807,932	807,761	823,991	821,896	822,795	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	790,106	803,082	802,911	823,991	821,896	822,795			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.63	0.50	0.60	0.50	1.05	1.00		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	5,308	4,213	5,231	4,359	8,928	8,503		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	795,414	812,145	812,992	828,350	830,824	831,298			
単位当たりコスト (12 ÷ 1)	13 円	28,407,643	21,372,237	33,874,667	25,885,938	48,872,000	34,637,417			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	634	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	634	0		
	差引：一般財源 (12-18)	19 千円	795,414	812,145	812,992	828,350	830,190	831,298		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 080

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	施設サービス購入	2	回	374,595
	維持管理・運営サービス購入	4	回	446,458
	その他（事業連絡会開催ほか）			843
事業実績	<p>PF1事業として杉並公会堂の施設利用、維持管理・運営を円滑に行うため、施設サービス購入料を2回、維持管理・運営サービス購入料を4回支出しました。また、施設の適切な運営を目的として年2回、運営事業連絡会を開催しました。</p> <p>令和2年4月8日から5月31日まで、新型コロナウイルス感染拡大を受けた国の緊急事態宣言により休館となり、日本フィル杉並公会堂シリーズなどが中止となりました。6月からの再開以降は徹底した感染症対策を講じ、施設を介した感染者を出すことなく安心、安全の運営を行うことが出来ました。</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による国の緊急事態宣言を受けて、令和2年4月8日から5月31日まで休館しました。6月1日からは、国や全国公立文化施設協会等のガイドラインに沿って、利用者が安心して利用出来るよう、徹底した感染症対策を講じながら、利用を再開していきました。</p> <p>令和3年度は引き続き、コロナ対策に万全を期しつつ、区民が安心して文化・芸術に触れる機会の充実を図っていきます。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>令和4年度についても引き続き、当初に想定した予算内で維持管理、運営事業を実施していけるよう、P F I 事業者と協議していきます。</p>	